

福島南ロータリークラブ

基本方針:ロータリーに輝きを

事務局/〒960-8151 福島市太平寺字通吹 6-2 ザ・36・メイファイブ 1F2号室
tel. 024-546-3793 fax. 024-545-7878
例会場/サンパレス福島 〒960-8101 福島市上町 4-30
tel. 024-523-3811(代) fax. 024-523-0375
HP アドレス <http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html>



- 会長：高橋勇雄 ■幹事：吉田和義
- 会報委員長：伊藤弘子 ■副委員長：笠 雅樹
- 委員：丹治洋子 赤間浩一 菅野清敬 菊地和宏 三瓶弘樹

第35回例会

平成27年4月1日(水) サンパレス福島

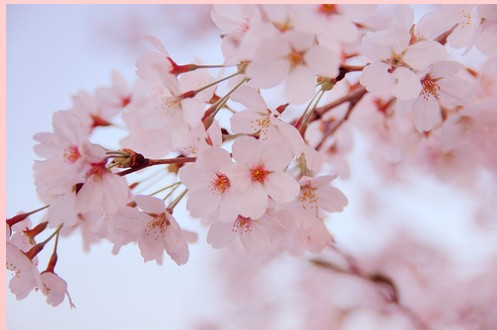
■会員/73名 ■出席/48名 ■出席率/65.75% ■メークアップ25名 ■修正/73名 ■修正率/100.0%

本日のプログラム

- 12:30 開会点鐘
- 国歌斉唱
- ロータリーソング(奉仕の理想)
- 四つのテスト
- 来訪者紹介と会長挨拶
- ロータリー財団表彰
- 誕生祝い
- 「ロータリーの友」読みどころ
- 第27回全国ローターアクト研修会報告
- 次期幹事セミナー報告
- 幹事報告
- 戦略計画委員会報告
- ゲストスピーチ
- スマイリングBOX委員会報告
- 13:30 閉会点鐘

本日のソング 『奉仕の理想』

奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我らの業
望むは世界の久遠の平和
めぐる歯車いや輝きて
永久に栄よ
我等のロータリー ロータリー



◆会長あいさつ◆



高橋 勇雄 会長

皆さん今日は、本日のお客様紹介をします。プロ野球独立リーグ福島ホープス(株)福島県民球団代表取締役社長扇屋富幸様ようこそお出で下さいました。扇屋様には、後ほどスピーチを頂きますので宜しくお願い致します。

さて、先週の第44回創立記念には、福島RC様、福島21RC様をお招きし開催することが出来ました。輝かしい伝統と誇りを胸に、更なる充実で次年度の45周年、そして50年、100年と続きます様お祈り致します。その翌日には、福島RC様の創立64周年記念例会に、会長・幹事の2名で出席して参りました。ガバナー輩出3名、子クラブが10クラブ、まさに歴史と伝統のクラブである事を実感して参りました。余興には、前回当クラブの例会でアリュッシュの演奏をされた田沼琴絵さんがここでは琴の演奏を披露されました。今月行われる趣町合同家族観桜会に偶然にも、琴の演奏で呼び掛けておりますので、楽しみにして下さい。

さて、4月はローター雑誌月間です。世界中のロータリアンにとって必要不可欠な情報源、そのローター雑誌の、重要性を認識する特別月間です。現在は、Eメールやインターネットが最も手軽な通信手段となってきましたが、日本には、RI理事會が認証した公式地域雑誌「ローターの友」があります。そして、ロータークラブの会員は、会員身分を保持する限り、このローター雑誌を購読しなければならない…とクラブ定款14条にあります。今月はこのことを十分に理解し、後ほど紹介されます読みどころを参考にローターの友をじっくりとご覧いただければ幸いです。

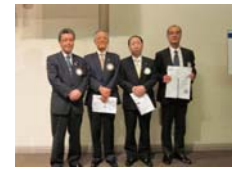
さて本日は、スケジュールが盛りだくさんになっております。前半は、ローター財団表彰、誕生祝い、ローターの友読みどころ、全国ローターアクト研修会報告、そして次年度幹事セミナー報告と続き、食事後の後半は、戦略計画委員会報告、そしてゲストスピーチとして福島ホープス代表の扇屋富幸様からお話を頂く事になっております。限られた時間の中で、スケジュールが盛りだくさんとなっておりますので皆様のご協力を切にお願いし、会長挨拶と致します。有難うございました。

◆ロータリー財団表彰◆



金子親房会員 マルチ1
渡辺 勇会員 マルチ4

◆誕生祝い◆



高橋勇雄会長より、4月誕生日の方に記念品が贈られました。
S23.4.02 佐久間 功会員
S33.4.20 佐藤 朋也会員
S24.4.24 黒羽 好夫会員
S50.4.26 赤間 浩一会員

◆「ロータリーの友」読みどころ◆

クラブ広報雑誌委員会 国井 元 会員
元会員96歳社会奉仕にまい進中(林克重会員)佐藤 倍さんの自宅の庭には、9ホールのミニパターゴルフ場があります。当クラブに在籍していた7年前、地域に貢献をしたいと自宅の畑をつぶし、約300坪のミニパターゴルフ場を造り、無料で開放しました。佐藤さんは「自分がローターに入会し、社会奉仕を学ばなければミニパターゴルフ場をつくるアイデアは生まれなかったと思います。なにより、自分が元気でいられるのもミニパターゴルフ場を造り、そこに地域の皆さんが集まり、交流の場として利用してもらえるからです。自分も健康で、生きる力を頂いているのです。本当につくってよかった」とおっしゃっていました。

◆第27回全国ローターアクト研修会報告◆



地区ローターアクト

廣澤 俊樹 委員長

3年目のローターアクトの全国大会が行われた。3代目のガバナーの継続事業である。ローターアクトは自前で参加の中、2日間出席したにも関わらず、2530地区のロータリアンが2日目に参加できなかったのは残念だった。

◆次期幹事セミナー報告◆



次年度幹事 松崎 弘昭 会員

親睦を深める最適な機会が週1回の例会出席である。会長と幹事は、主役と黒子の関係ではなく、それぞれに役割を担う真のパートナーとして活動できるように、7月まで準備を進めて参りたいと思いますので、皆様のご協力を宜しくお願い致します。

◆戦略計画委員会報告◆



戦略計画委員会

野地 利雄 委員長

「ローター戦略計画はなぜ必要か」

- ①クラブのサポートと強化
- ②公共イメージと認知度の向上
- ③人道的奉仕の重点化と増加

◆ゲストスピーチ◆

プロ野球独立リーグ福島ホープス(株)福島県民球団
代表取締役社長 扇屋 富幸 氏



野球事業を通して地域を元気にする
=「地域貢献」
地域における野球振興の最前線となる
=「野球振興」

地域に人材を送り出す=「人材育成」

ROUTE INN BCL 創生ふくしま!プロ野球独立リーグ福島県民球団

何苦楚魂


BCリーグは地域と地域の子どもの為にリーグの根底を支える「BCL憲章」

【BCL憲章～地域と、地域の子供たちのために】

BCリーグは、地域の子供たちを、地域とともに育てることが使命である。BCリーグは、常に全力のプレーを行う事により、地域と、地域の子供たちに夢を与える。

BCリーグは、常にフェアプレーを行う事により、地域と、地域の子供たちに夢を与える。

BCリーグは、球場の内外を問わず、地域と、地域の子供たちの規範となる。




福島県民球団福島ホープスの2015年度スロガンは「何苦楚魂」に決定したそうです。何事も苦しむことが楚(いしずえ)となるという意味だそうです。「福島ホープス頑張れ!!」と会長からメールを送りました。

来月のプログラム

- 4月8日(水) ゲストスピーチ
- 4月15日(水) 家族観桜会(東京趣町RC合同夜間例会)
- 4月22日(水) 東京趣町RCとの協同事業報告
職業奉仕セミナー報告、ゲストスピーチ
- 4月29日(水) 法定休日

※ 地区情報

- 4/11 第2回職業奉仕セミナー(郡山卸町会館)
- 4/15 ソフトロック贈呈式(東京趣町RCとの共同事業)
- 4/19 東北第一分区ゴルフ大会(民報コース)
- 4/25 地区会長幹事会・地区指導者育成セミナー
- 4/26 地区大会